

内堀知事が町長と意見交換

内堀知事が4月20日に来町し、トレーラーハウス「MANMA HOUSE」で町長とまちづくりに関する意見交換を行いました。

3月にオープンした「MANMA HOUSE」を視察し、その後小野高校の生徒が町と連携して取り組んでいる活動について知事に報告しました。報告では、家庭クラブが開発したミネラルトマトを練り込んだうどんなどを試食していただきました。また放送部ではCM大賞に出品した作品を鑑賞していただくなどして活動を説明しました。知



1

事からは、特産品開発や作品づくりに関する苦労話などの質問があり、生徒のがんばりを褒めていました。

引き続き、MANMA HOUSE内で小野高校の支援に関する取り組みや小野インターチェンジ周辺開発などに関して意見を交換しました。

町は、今後も県などと連携し「小野町まち・ひと・しごと創生総合戦略」「第四次小野町振興計画」などに基づき、人口減少対策につながるまちづくりに取り組んでまいります。



2

1_MANMA HOUSEを視察した内堀知事(中央)と小野高校の生徒・関係者の皆さん/2_意見交換する町長(左)と内堀知事

ふるさと小野町会

ふれあい通信



高野美代子

●荒川のうた合唱団団長

「小町ふれあいフェスタ」出演の旅

昨年の小町ふれあいフェスタでは、6年ぶり3回目の出演で、町長をはじめ各関係者の皆さんに大変お世話になりました。

小野町の皆さんに「荒川のうた合唱団」を知って欲しいと思い少し書いてみます。

この合唱団は、埼玉県を流れる荒川から東京湾への自然や流域の暮らしなどを題材に“大事な水”や“いのち”をテーマに歌づくりをしており、ふるさと小野町会との縁もあり小野町には大変親しみを感じています。

平成11年に荒川のうた募集があり、その時『荒川を愛する大人と子どものための合唱組曲「荒川のうた」12曲』を発表し、特別作品に入賞しました。その後「荒川のうた合唱団」を結成し、埼玉県戸田市を中心に演奏しています。

現在の創作曲数は約200曲で、福島県の歌が4曲あり、うち2曲は小野町の歌です。平成21年来町し、小野町は“ふるさとの原風景に相応しい町”だと感動して詩にしたのが「ふるさと小野町」です。

昨年のフェスタでは、長年望んでいた地元の「マドリガルコーラス」の皆さんと一緒に歌ってくださいました。指揮をしながら皆さんの歌声を聴いていて胸が熱くなりました。

その後あらためて会場の皆さんと「ふるさと小野町」を歌い、手拍子と大きな歌声が会場に響き“ふるさと”への思いがみんなの心をつにしました。

これからも小野町の皆さんにこの歌が愛され、そして皆さんと歌う機会があることを願っています。